

取組提案等の検討（委員意見まとめ）

委員名	課題	解決策・事例や取組など
仲 亀 委 員	駐輪による道幅の減少。自転車・人・車の通行の妨げ。 （以前よりは減少） 場所：平間駅付近（ガス橋通りを挟み武蔵小杉方面、店が無い場所）	■ 駅付近の駐輪場の拡大
田 中 委 員	自転車通行可能表示の改善 場所：市ノ坪交差点（綱島街道×府中県道）の先 内容：交差点付近は道路幅が広く、自転車通行路線が明示されているが、少し先で突然無くなる。歩道に上がるのか、車道に行くのか迷ってしまう。	■ 細いグリーンラインで良いので、継続して引く→安心して、注意しながら通行できる。
成 田 委 員	他者への思いやり、公共の場でのマナー維持・啓発 場所：区内全域 内容：生活する者、通勤・通学する者等全区民が、お互いの立場を理解し、誰もが中原のまちを快適と感じられるようにする。日常生活上の「道路」に視点を置いてマナーや思いやりを考える。歩きやすさ、安全性について何が必要とされるのかを検証し、啓発する。	■ 区内5地域（大戸、小杉、元住吉、丸子、玉川）ごとに歩行者（障害のある人、ベビーカーなどを含む）、自転車、ドライバーの3つの立場を総合して、課題箇所をピックアップ。 ■ 課題分析や改善方向性など検証し、啓発標語等を検討する（標語は市政だよりやメール等で活用）。結果を第5期市民報告会で発表。
松 本 委 員	安全・安心な歩道の確保 （障害者・高齢者・子育て世代等含めて）	■ フラワーポット設置による路上駐輪の防止 ■ やわらかいガードポールの設置 ■ 通勤・通学、高齢者、子育て世代の足として利用可能な循環型ワンコインミニバスの運行（高齢者の安全・安心な交通手段として、自転車の利用者数の減少の可能性、交通不便地域も対象とする等）
	段差・点字ブロック上への自転車駐輪	
	商店街での路上陳列（商品・看板）や路上駐輪による歩行困難 （モトスミ・ブレイメン通り、オズ通り）	
長 尾 委 員	自転車利用の多い主婦層へのアピール	■ 親子自転車（交通）マナー教室の開催（幼稚園・保育園参観日） ■ 小・中学校の成人委員会企画の家庭教育学級で、保護者向け講座の企画（教委・生涯学習課に依頼する等） ■ 町内会等で自転車マナー教室の開催（参加者に地元商店街利用の優待券を配布する等）
	中高生へのアピール	■ SNS等活用したアピール（面白い動画などで拡散） ■ 部活動の大会会場など、長くとどまっている場所に掲示
	ながらスマホ	■ スマホコーナーの設置…駅や人通りの多い歩道の一角など。他の場所では利用しないようアピール
	ベビーカーのマナー	■ パンフレット配布…保健所の健診時等に配布、横列通行やながら通行の危険性のアピール（事故例等も併せて）
		■ 「ひやりマップ」の作成…小学校、町内会、こども文化センターなどで参加者を募集・企画し、自分たちの町の「ひやりマップ」を作成
梶 川 委 員	交通マナーやルールの個人個人にしっかり伝わる広報活動	■ 既存の活動の浸透…多くの団体が既存の取組、パンフレットや広報活動をもっと住民に浸透させる。町会等を通じた広報等。
	自転車運転マナーの悪さ 自転車の過剰な走行スピード、歩行者無視の歩道通行（声掛けやベルの徹底。互いの進路変更時など危険）、自転車の補助椅子に子どもを乗せ、スピードを出すママ（保育園等の朝・夕の送迎時など）、信号無視（特に若い人）、親子での自転車通行、バス停乗降客と自転車との衝突の危険性	
	歩きスマホ …駅のホーム・コンコース、道路通行中など	
	ベビーカー利用者のマナー …横列通行、走って通行（小杉駅ショッピング街等）	
山 崎 委 員	それぞれの交通手段で気持ちよく移動できる町 …互いに思いやりをもって、道路を通行できる町	■ マナー喚起の看板設置…自転車走行に危険な箇所や歩行者に特に注意して走行した方がよい箇所の調査
	お母さんたちの自転車マナー （登園時など）	■ お母さんたちが学ぶ自転車マナー教室（PTAの協力が必要）
梅 原 委 員	自転車運転マナーの徹底	■ 講習会（「交通法規」、実技試験の科目の設定）の開催と「自転車運転免許証」の発行／免許証には権威や特典も（商店街割引、駐輪場利用権など）
		■ 自転車の「強制保険」化…購入時の「強制保険加入」から始める。
		■ 駅・商店街周辺の駐輪場整備…費用は商店街負担、係員にNPOやシルバー人材活用など